



# 南蒲小学校：授業改善プラン全体計画

## 本校の教育目標

- 教育基本法
- 学習指導要領
- 東京都教育ビジョン(第4次)
- 大田区教育目標  
(おおた教育ビジョン)等

人間尊重の精神に基づき、真理と平和を求め、心身ともに健全で自他の幸福を大切に、自ら学び考え行動する意欲と人のためにつくす態度をもち、国際社会で信頼される人間の育成を目指して、次の目標を設定する。

### ○いのちを大切にしよう

- ・すすんで学ぶ子(重点目標)
- ・心豊かな子
- ・健康な子

## 保護者・地域の期待・願い

- 命を大切に、思いやりのもてる子ども
- ルールを守り、良識ある子ども
- 礼儀正しい子ども
- 地域に関心をもつ子ども
- 自分の意思を  
周囲に上手に伝えられる子ども
- 明るく元気に、  
何事も積極的に行動できる子ども
- 本や新聞に興味をもつ子ども  
(「学校に対する保護者アンケート」より)

## 学力向上にかかわる学校経営計画

- ・知識・技能の基礎学力の習得と活用及び思考力、判断力、表現力等を育成するとともに主体的、意欲的に学習に取り組む態度を養う。
- ・研究、研修、OJT等を通して授業改善を進めるとともに、多様な学習活動を設定し活力ある教育活動を行う。

## 授業改善の方向

- ねらいが明確で、学習内容を正確に把握できる授業
  - 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できる授業
  - 自ら課題を発見し、主体的に解決できる喜びを味わえる授業
  - 学校支援地域本部コーディネーターと連携し、地域教材・人材、外部団体を活用した授業
- ＜実効性を高める方略＞
- ・授業観察時の授業において、「目標・展開及び手立て・評価」が一体となった授業となるよう事前周知する。
  - ・OJTによる授業力向上研修(ペア・グループ)を実施する。
  - ・家庭学習週間を設定し家庭学習の定着を図る。
  - ・朝学習の継続的な取組と大田区学習効果測定の結果を観察する。

## 《令和2年度：授業充実のための重点》

- 1, 子どもの意欲を高めるための指導を工夫し、基礎的な学力を身に付けさせます。  
☞算数科の学習を通して、子どもがすすんで学習に取り組み、学び続けられる力を育成する授業を創造します。
- 2, 算数習熟度別少人数授業と補習教室や家庭学習との効果的な連動を図ります。  
☞児童の実態に応じた授業改善、算数ステップ学習、東京ベーシック・ドリルの活用(学び直し、反復練習)、放課後補習・土曜補習の実施を通して算数の基礎的・基本的な事項の着実な習得を図り、授業での理解がより進むようにします。家庭学習週間等で家庭と連携し、家庭学習の定着及び効果的な関連を図ります。
- 3, 教師の授業力向上に取り組めます。  
☞OJTによる授業研究及び指導(ペア研修、グループ研修)を計画的に実施したり、大田区教育委員会等が主催する研修や指導教諭の模範授業に積極的に参加したりします。また、自己申告の授業観察、校内研究における授業研究を充実させたり、校内若手研修を実施したりすることで、教師一人一人が自らの授業力向上を図ります。
- 4, 図書室の機能充実と読書活動を推進させます。  
☞大田区の学校図書館支援事業を受け、学習の情報センターとしての機能向上、読書学習司書や蒲田図書館と連携した読書習慣の定着などを図ります。
- 5, 落ち着いた学習に取り組めるよう、学習環境の充実を図ります。  
☞学習のきまりが定着するよう継続的な指導を進めるとともに、規律ある生活態度を徹底することで、学習課題にじっくり取り組み、不注意によるミスなどが無くなるようにします。
- 6, 「地域の教育力」の一層の活用を図ります。

## 充実した授業を支えるための諸要件の改善

### 心の教育

- 異学年交流を通じた思いやり・信頼の心情の高揚
- 道徳指導の充実と人権教育の推進
- 規範意識の徹底
- 「あいさつは心をひらく愛ことば」あいさつの励行

### 生活指導

- 全教職員の共通理解を重視した一貫性のある生活指導
- 校内研修会、生活指導夕会、特別支援委員会、ケース会議、いじめ防止対策委員会などを活用した組織的対応

### 体力の向上

- 体育・体育朝会での縄跳び等への取り組み
- なんぼーランの実施
- 「食の教育」の推進
- 保健学習を中心とした「健康教育」の推進
- 体力テストの活用
- 早寝・早起き・朝ごはんの推奨
- 体力向上モデル校

## 低学年：課題と授業改善案

国語	
昨年度の成果と課題	<p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滑らかに音読することが難しい児童がいるので、毎日5分程度音読の時間を設け、読む力の向上を図った。</li> <li>・平仮名・片仮名や特殊音節を正しく使えない児童がいたので、短作文や聞き書きなど書く機会を多くして慣れさせた。</li> </ul> <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読カードに日常的に取り組み、内容を考えながら読むことができる児童が増えた。</li> <li>・促音・拗音が正しく使える児童が増えたが、カタカナの定着や助詞の使い方には課題が残る。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○滑らかに音読することが難しい児童がいる。</li> <li>○文章を読んで内容を理解したり、内容に関する質問に答えたりする力に差が見られる。</li> <li>○主語と述語がねじれた文やつなぎ言葉のない分かりにくい文章を書く児童がいる。</li> <li>○平仮名、片仮名を正しく読んだり書いたり、促音や拗音を正しく使うことができない児童がいる。</li> <li>○質問に対する的確な答えを話すことができていないことがある。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎国語の時間に音読の時間を設けたり、多層指導モデルMIMを授業に取り入れたりする。</li> <li>○文章をよく読み、大事な言葉や繰り返し使われる表現などに着目させる。線を引いたり、文を書き抜いたりする指導を取り入れる。</li> <li>○短作文や日記など書く機会を多くして、正しい文字や文章を書くことになれさせる。</li> <li>○視写やワークプリントなど、正しい表記・表現を意識できる指導を取り入れる。</li> <li>○質問の内容を具体的にし、分かりにくい発言に対しては、教師が整理をして言い直しができるようにする。</li> </ul>

算数	
昨年度の成果と課題	<p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たし算ひき算の演算決定が難しい児童がいるため、「あわせて」「みんなで」「ちがいは」などのキーワードに線を引き、題意を意識させた。</li> <li>・補数関係の理解が不十分で計算につまずく児童がいるため、算数ブロックなどの具体物を用いて数のイメージを持たせた。</li> </ul> <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2桁の繰り上がり・繰り下がりのある計算のやり方は理解できたがつまずくことがある。正確に計算する力が弱い面がある。</li> <li>・ものさしを使って、長さを読み取る、線を引くなどの作業が注意深くできず、誤答することがある。</li> <li>・キーワードに着目して文章問題から立式に必要な情報を読み取るようになってきたが、引き算の問題での間違いがまだ見られる。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○10までのたし算ひき算の計算に、指や算数ブロックが必要な児童がいる。</li> <li>○文章問題で、引き算たし算の演算決定が難しい児童が多い。</li> <li>○計算の基礎となる、通常暗算で行う20以下の足し算引き算やかけ算九九を誤答なく速くできるようにする。</li> <li>○まだ、定規の使い方に慣れておらず正確に使えていない。</li> <li>○はっきりとしたキーワードが問題文にない時に、文章問題から立式に必要な情報を読み取ることができていない。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎たし算・ひき算の演算決定のキーワード「あわせて」「みんなで」「ちがいは」などの言葉に線を引き、題意を明確にして問題に取り組みさせる。</li> <li>○フラッシュカードやブロックを使い1～20までの数や5や10の補数について慣れさせ正確に答えられるようにする。</li> <li>◎計算の小テストに継続して取り組みせ、正確な計算力をつける。</li> <li>○算数の学習だけでなく学校生活の中で定規を使って線を引く活動を増やして、正しく使えるようにする。</li> <li>○立式に必要な情報を文章から読み取りにくい問題では、絵・図や言葉の式等で一緒に確認し、正しく立式できるようにする。</li> </ul>

生活	
昨年度の成果と課題	<p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設を大切にしたり、安全に気を付けたりしていない児童がいるので、みんなで使う場所の利用の仕方に気付けさせ、学習後、その後の利用の仕方について振り返りの時間を設けるようにした。</li> <li>・アサガオのお世話に差があった。そこで目的をもって植物を育てるために、リース作りや種をプレゼントすることなどを事前に伝え、朝顔を大切に育てようとする気持ちを育てる。また、小動物を教室で飼い、常に目に触れるようにすることで愛情や責任感をもたせられるようにした。</li> </ul> <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や友達や先生や地域の様々な人々への親しみの気持ちは育ってきたが、支えてくれていることへの感謝の気持ちが希薄だったり、適切な態度がとれなかったりする児童がいる。</li> <li>・植物のお世話や観察など自分から継続的に取り組める児童もいるが、興味が持続せず世話ができない児童がいる。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達や先生、地域の様々な人々が支えてくれていることへの感謝の気持ちや、適切な態度への気付きが十分でない。</li> <li>○植物や生き物の命の大切さが十分に理解できていない児童がいる。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎教科書の写真や、教師が教材見本を提示することでイメージをもたせ、楽しんで活動できるようにする。</li> <li>○継続して植物や生き物の世話や観察に取り組みさせることにより、その変化や愛情や面白さを感じさせることで、命の大切さに気付かせる。</li> <li>○町探検で地域の人と触れ合ったり、学習発表会に向けて、これまでの自分の歩みを振り返ったりする場を設定することで、支えてくれていることへの感謝の気持ちやそれにふさわしい態度を考えさせる。</li> </ul>

音楽	
昨年度の成果と課題	<p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月毎に季節や行事の歌の常時活動を取り入れることで、自信をもって歌ったり、意欲的に歌ったりする児童が増えた。</li> <li>・鍵盤ハーモニカの奏法、運指に課題が残る児童がいる。</li> </ul> <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月毎に季節や行事の歌の常時活動を取り入れることで、自信をもって歌ったり、意欲的に歌ったりする児童が増えた。</li> <li>・鑑賞活動を通して音楽から感じ取る力を伸ばすことができたが、音楽の様子を表す語彙が少ないことや、共通事項を正しく使えないことで、思ったことをうまく伝えられない場面がみられた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どの領域の活動にも意欲的に取り組んでいるが、楽器の基礎的な奏法、歌唱法を身に付けさせる必要がある。</li> <li>○音楽からたくさんのかを感じ取っているが、どのように感じたのかを適切な言葉で伝えられない。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学習のなかで様子を表す言葉と共通事項を関連付けて指導していき、思いと言葉をつなげ、伝える力を伸ばす。</li> <li>○伴奏やメロノーム、CDを使用したリレー奏や、手拍子でのリズム遊びを取り入れ、拍の流れを感じ取りながら歌ったり演奏したりできるようにする。</li> <li>○合奏活動はわかりやすいルールを設定し、音を合わせることの心地よさを体感させる。</li> <li>○ICT機器を活用し、身近なロールモデル(児童合唱や児童合奏など)を鑑賞させ、よりよい音楽を目指して取り組めるようする。</li> </ul>

図工	
昨年度の成果と課題	<p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のめあてを把握せずに作業に取りかかってしまう児童がいるので、イメージづくりの手がかりを提示して指導した。</li> <li>・材料や用具の使い方が十分に身に付いていない児童がいるので、十分に使い方を指導し慣れさせる時間を作った。</li> </ul> <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色鉛筆や絵の具、はさみなどの基本的な使い方を習得することができた。</li> <li>・材料や用具の特徴を考え、取捨選択して作品に取り入れることに課題が残る。</li> <li>・作品制作は積極的であるが、道具を大切にしない場合がある。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作業を楽しむだけになってしまうことがあり、作品を最後まで丁寧に仕上げるできない児童がいる。</li> <li>○材料や用具の使い方が十分に身に付いていない児童がいる。</li> <li>○何を作ったらいいか、作り始めるまでに時間や支援が必要な児童がいる。</li> <li>○材料の特性や用具の効果的な利用方法が身に付いていない児童がいる。</li> <li>○積極的に取り組んでいる児童がほとんどであるが、活動のペースに差がみられる。</li> <li>○作品完成まで集中力を維持できない傾向がある。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学習のめあてを把握して、イメージをもって作業を始めさせる。</li> <li>○自分なりの工夫ができて作品を教員が取り上げて全体指導に生かすことで、自分の作品へのこだわりをもつ態度を育てる。</li> <li>○作り始めの段階で意見を共有したり広げることで、豊かな発想を促す。</li> <li>○より良い作品にするための工夫の方法を考えさせたり指導したりして、概ね作品を仕上げられるように活動時間を設定する。</li> <li>○参考作品や絵図のある板書や資料を活用し、材料の使い方や用具の使用法や片付け方をわかりやすく提示する。</li> <li>○短時間で完成できる題材も取り入れながら、完成する喜びを味わわせる。</li> </ul>

体育	
昨年度の成果と課題	<p>【1年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手意識から消極的になる児童に、カードなどを用いて、スモールステップを設定し達成感を味わうことができるようにした。</li> <li>・投げる、蹴る、捕る、握るなど、基本的な動作が身に付いていない児童がいる。逆さ感覚や腕支持感覚を養うために、固定遊具を使った運動遊びやマット遊びの活動を取り入れた。</li> </ul> <p>【2年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの児童が意欲的に取り組めたが、自分の苦手な学習に関してはすすんで取り組みたがらない児童も見られた。</li> <li>・すすんで練習に取り組み、逆上がりなど技能の向上が見られる児童もいたが、鉄棒やマット運動など、柔軟性や回転感覚に乏しく、技能獲得が困難な児童も見られた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の苦手な学習に関しては、あまり意欲的に取り組めていないことがある。</li> <li>○自分の体を起こしたり支えたりする技能や柔軟性、体のバランスをとる動きに課題が見られる。</li> <li>○ゲーム・ボール運動において、相手がとりやすいボールを投げたり、確実にボールをキャッチしたりする技術が十分ではない。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>○適宜振り返りをさせ、がんばったところや楽しかったことを確かめさせ、体育への意欲が持続できるようにする。</li> <li>◎授業前・導入にストレッチをし、柔軟性が高められる運動や力試しの運動を十分行えるようにする。</li> <li>○学習の中で、的当てのボール遊びや攻守交代のベースボール型ゲーム、ゴール型ゲームなどを多く取り入れる。</li> <li>○動きを言語化して体の動き方を意識することで固有感覚を高め、苦手意識を持つ児童も積極的に活動することができるようにする。</li> </ul>

## 中学年：課題と授業改善案

国語	
大田区学習効果測定の結果分析 (経年比較)	<p>【第4学年】 (令和2年度結果：第4学年時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○正答率が目標値や区の平均値を下回っているものが多い。</li> <li>○領域別では「書くこと」「読むこと」が弱い。</li> <li>○観点別では、「書く能力」「読む能力」の正答率が低い。</li> <li>○試験の形式になれていない。</li> </ul>
昨年度の成果と課題	<p>【3年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はじめ」「中」「おわり」の構成を理解できるようになってきたが、内容を理解することには課題が見られる。</li> <li>・書くことに抵抗はなくなってきたが、2年生までに学習した漢字や助詞を正しく用いて文章を書くことが難しい。</li> </ul> <p>【4年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話の中心を意識しながら読んだり、聞いたりする活動を取り入れ、意識した読み方や聞き方が分かるように視点を決めて指導した。</li> <li>また、詩や俳句、短歌などを音読する機会を増やした。</li> <li>・段落に気を付けて書くことや文をつなぐ言葉の幅を増やしながら文の中で適切に使えるようにしてきたが、目標を達成するまでには至らなかった。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話の中心を意識していないため、話の内容を正しく読んだり書いたりすることができていない。</li> <li>○助詞や接続詞を適切に用いて文章を書くことが難しい。既習の漢字やローマ字が定着しておらず、適切に使うことができていない。</li> <li>○図や表から大切な情報を見つけ、自分の考えを分かりやすい文章にするなど内容を読み取るための基礎的な力に課題がある。</li> </ul>
<b>授業改善案</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎説明文の学習を通して、文章のつくり、段落のつながりやはたらきについて重点的に指導する。</li> <li>○助詞、表記、接続詞、漢字、ローマ字、に関しては、朝学習での「書くて楽しいね」や「南作タイム(作文)」で練習したり、読書量を増やしたりして、日常の授業以外でも、継続して指導することで定着させていく。</li> <li>○説明文や物語文の読み取りでは、根拠にもとづいて文章を読んだり要点や要約を自分でまとめる活動や、図や表から分かることを自分の言葉でまとめる活動を取り入れていく。</li> </ul>

社会	
大田区学習効果測定の結果分析 (経年比較)	<p>【第4学年】 (令和2年度結果：第4学年時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○正答率が目標値や区の平均値を2～5ポイント下回っている。</li> <li>○領域別では区の平均に対して「地域や市の様子」「生産や販売」が弱い。</li> <li>○観点別では、「社会的な思考・判断・表現」「観察・資料の活用の技能」の正答率が特に低い。</li> </ul>
昨年度の成果と課題	<p>【3年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用語の意味を正しく理解し、それらの言葉を使って文章を書いたり、説明したりすることに課題が見られる。</li> <li>・地図や資料から必要な情報を読み取ることやそれらを比較したり関係付けて考えることが難しい。</li> </ul> <p>【4年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・活用の基礎的な力に課題がある。</li> <li>・調べ学習は興味・関心をもって取り組んでいたが、どの資料を読み取ればいいのかわからず、上手にまとめることができなかった。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○土地の立地条件から、住む人々の暮らしと結び付けて比較したり関係づけて考えることが難しい。</li> <li>○目的意識をもって地図や資料から必要な情報を読み取る力に課題がある。</li> <li>○活用の力に課題がある。</li> <li>○生産者の工夫について消費者の視点に立って把握することができていない。</li> </ul>
<b>授業改善案</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎様々な資料を提示し、社会的な事象について、因果関係や人々の思いについて思考する場を設定して指導する。</li> <li>○「なぜそこにあるのか」など疑問をもち、その立地条件に着目し、問題を解決していく授業を展開する。</li> <li>○社会科見学や取材、調べ学習を通して分かったことや気付いたことを、地図や資料を活用しながら用語を使ってまとめる活動を取り入れる。</li> <li>○体験的な学習の場を多く設定し、どんなことを学んだか振り返りができるように指導する。また、様々なものに触れ、そこに関わる人々の思いについて実際に見たり、聞いたりすることで、考えを深められるように指導する。</li> </ul>

算数	
大田区学習効果測定の結果分析 (経年比較)	<p>【第4学年】 (令和2年度結果：第4学年時)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大田区学習効果測定の結果では、正答率が目標値や区の平均値から4～6ポイント下回っている。</li> <li>○領域別では、「量と測定」と「図形」が区の平均より7ポイント以上下回っている。</li> <li>○観点別では、特に「知識」の正答率が低い。</li> </ul>
昨年度の成果と課題	<p>【3年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り上がり、繰り下がりのある計算や乗法はできるようになってきているが、早く正確に計算する力は十分に身に付いていない。</li> <li>・文章問題から立式に必要な情報は読み取れるようになってきている。</li> </ul> <p>【4年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な計算が身に付いていない児童が3割程度いる。</li> <li>・図形の性質を調べたり、図形を丁寧に描いたりすることが苦手な児童が多い。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○正しく計算をしたり、量感をイメージして予測して測ったりすることができないことがある。</li> <li>○文章問題、絵や図から立式に必要な情報を読み取り、設問に対する正しい答えが求められないことがある。</li> <li>○コンパスや分度器を使って、角度を測ったり、図形を正確に描いたりすることができないことがある。</li> </ul>
<b>授業改善案</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎自分の考えを発表したり、他者の考えを聞いて自分の考えを深めたりする時間をもつようにする。そのような活動を通し、様々な解決方法や表現の仕方を増やし、場面に応じて活用できるようにしていく。</li> <li>○計算や図形の理解が不十分な児童には、スモールステップ学習で個別に対応し、「できた」「分かった」という体験を積み重ねることで、知識の定着を図る。</li> <li>○実物を操作したり、自分の体験と結び付けて考えさせたりすることで、量感をイメージして学習させる。</li> <li>○日常的に計算練習を取り入れ、早く正確に計算する力を身に付けさせる。</li> </ul>

理科	
大田区学習効果測定の結果分析 (経年比較)	【第4学年】 (令和2年度結果:第4学年時) ○正答率は目標値に対して、基礎で5ポイント、活用で7ポイント下回っている。 ○観点別では目標値に対して「自然事象についての知識・理解」で8ポイント、「科学的な思考・表現」「科学的な思考・表現」で6ポイント下回った。
昨年度の成果と課題	【3年生】 ・観察する視点やお手本を提示することで、どこに注目して観察し、考察すればよいか分かるようになってきた。 ・理科で用いる大事な言葉を意識するようになってきたが、それらを使って書いたり説明したりすることには課題がある。 【4年生】 ・ノートやプリントに観察や実験した結果を記録することを継続的に行ったことで、関心・意欲が高まってきている。 ・自然事象に興味をもつ子どもが多くなった。理由を明確にして現象を説明することにはまだ課題がある。
課題	○自然事象に興味をもっているが、相違点や共通点を考えたり、理科で用いる大事な言葉を正しく使ったりして現象を説明することに課題がある。 ○温度計や虫めがねなど、状況に応じて操作することに正しい理解が身に付いていない。 ○「生命・地球」領域では主に観察を行うが、動植物や星空を実際に観察することが難しい。 ○観察をする際にも、観察の際の観点が徹底されず、焦点を絞り切れなかった。 ○実験の条件を揃えるもの、複数の実験から考察することなどの課題を解決することが難しかった。
授業改善案	◎相違点や共通点に気が付くことができるよう視点を与え、結果にもとづいて理科で用いる大事な言葉を使って考えを説明する授業展開や場をつくっていく。 ○虫眼鏡や温度計など実験器具を正しく用いることができるよう、継続的に指導する。 ○実験のめあて、自分の考え、結果、考察などしっかりとノートにまとめられるようにする。また、小テストなどを行い、学習の定着を図る。 ○「生命・地球」領域の学習においては、実際に観察・実験をする体験をできるだけさせるような学習計画を立てるようにする。また、天候や生育状況などによりそれが難しい場合にはICT機器を活用するようにする。 ○植物の成長や気候の変化などは、継続観察を通して、興味・関心がもてるよう指導する。

音楽	
昨年度の成果と課題	【3年生】 ・リコーダーや鍵盤ハーモニカの運指について、個人差が大きい。また、前学年までの既習事項に自信のない児童がいる。 ・楽器の奏法や扱い方を理解できず、破損させてしまうことが多い。 ・音楽から感じ取ったことを、適切な言葉や表現で伝えることが難しい。 【4年生】 ・リコーダーや鍵盤ハーモニカの運指について、個人差が大きい。また、前学年までの既習事項に自信のない児童がいる。 ・音楽から感じ取ったことを、適切な言葉や表現で伝えることが難しい。
課題	○リコーダーや鍵盤ハーモニカの運指について、個人差が大きい。また、前学年までの既習事項に自信のない児童がいる。 ○音楽から感じ取ったことを、適切な言葉や表現で伝えることが難しい。 ○これまでに学習したことを活用して考えたり、作り上げることに課題がある。
授業改善案	◎計画的に復習の時間を取り入れ、既習事項について着実に理解させ自信をつけさせる。 ○客観的に振り返りができるよう、聴き合ったり、自分たちの演奏の録音を鑑賞したりする学習を取り入れる。 ○わかったことを伝えるために、言葉カードを活用して語彙を増やすとともに、共通事項について正しく理解させる。 ○フラッシュカードやICTを活用し、既習事項の復習や技能(持ち方、運指など)の指導を行う。

図工	
昨年度の成果と課題	【3年生】 ・水彩絵の具の様々な技法に触れることで、表現の幅が広がり、作品に活用する姿が見られた。 ・金づちや釘抜き、きりの安全な使い方を習得することができたが、木片を組み合わせる段階で戸惑う児童が見られた。 ・作品制作は積極的であるが、道具を大切にしない場合がある。 【4年生】 ・アクリル絵の具の基本的な使い方は習得することができたが、イメージに合う塗り方や混色加減については課題が残る。 ・のこぎりの安全な使い方を習得することができたが、計画性に課題のある児童が見られた。 ・作品制作については積極的であるが、集中力、持続力に欠ける児童がいる。
課題	○材料の特性や用具の効果的な利用方法が身に付いていない児童がいる。 ○発想の段階でつまずき、自分の意見をもつことが困難な場合がある。 ○道具の扱いに関して指導がさらに必要である。 ○積極的に取り組んでいる児童がほとんどであるが、活動のペースに差がみられる。 ○作品完成まで集中力を維持できない傾向がある。
授業改善案	◎材料の特徴を全体共有したり確かめ合ったりして、効果的な表し方を考察する時間を設ける。 ○題材目標に向けて自分のイメージがもてるよう、適宜ワークシートを活用する。 ○参考作品や絵図のある板書や資料を活用し、材料の使い方や用具の使用法、片付け方をわかりやすく提示し徹底させる。 ○自分なりの工夫ができていない作品を教員が取り上げて全体指導に生かすことで、自分の作品へのこだわりをもつ態度を育てる。 ○発想の段階で話し合いの時間を設け、意見を共有し、作品のイメージをもたせる。 ○短時間で完成できる題材も取り入れながら、完成する喜びを味わい、次の学習の意欲を高める。

体育	
昨年度の成果と課題	【3年生】 ・どの学習活動も意欲的に取り組むことができるようになってきている。 ・集団の中で適切に自分の意見を伝えたり、主体的な行動をしたりすることに課題がある。 【4年生】 ・投げる動作について、学校全体での取り組みもあり、活動する機会が増え、意欲的に取り組んでいる。 ・ゲーム型の授業では、得意な児童が中心となっていて、苦手な児童は消極的な参加となっている。
課題	○相手がとりやすいボールを投げたり、確実にボールをキャッチしたりする技術や、最後まで懸命にゲームに取り組む体力が持続しない。 ○ゲーム型の授業では、得意な児童が中心となっていて、苦手な児童は消極的な参加となっている。集団の中で適切に自分の意見を伝えたり、主体的な行動をしたりすることに課題がある。 ○投擲力に関して、正しいフォームで長い距離を投げる力に課題がある。
授業改善案	◎基礎能力の習得を目的とする活動の時間を毎時間必ず設定する。 ○技術の向上や作戦づくりなどに積極的に挑戦する姿勢を認め、めあての達成に向けて自分なりに工夫ができる機会を設定する。 ○ゴール型運動、ネット型運動等の学習を通じて、相手によって力加減や投げる方向をコントロールしたり、確実に受け止めたりすることができるように視覚的に、動作的に練習する機会を増やす。 ○個人の力に合わせためあてを設定する。また、チームの中で教え合い学習の場を設定し、全員がそれぞれのめあてをもって学習できるようにする。「できた」という達成感を味わうことができるようにすることで、苦手な児童も積極的に参加できるようにする。

# 高学年：課題と授業改善案

国語	
大田区学習効果測定の結果分析 (経年比較)	<p>【第5学年】 (令和元年度結果:第4学年時) ○正答率が目標値や区の平均値を下回っているものが多い。 ○領域別では「書くこと」「読むこと」が弱い。 ○観点別では、「書く能力」「読む能力」の正答率が低い。 ○試験の形式になれていない。 (令和2年度結果:第5学年時) ○正答率は、目標値と区の平均値を上回った。 ○領域別では、「話すこと・聞くこと」「読むこと」の正答率が区の平均より低い。 ○休校中の課題として過去問を一度解き、解説したことで試験の形式に慣れることにつながった。</p> <p>【第6学年】 (平成30年度結果:第4学年時) ○全体的に目標値を下回り、区平均正答率に達していない。 ○話し合いの内容の聞き取りや漢字を読むことは、区の平均値に近い結果を出すことができたが、漢字を書くことや説明文の読み取り、作文については課題がある。 (令和元年度結果:第5学年時) ○前年度同様、全体的に目標値を下回り、目標値に到達していない。特に、漢字を書くことや物語文の読み取りについては、目標値を大きく下回った。 ○説明的文章の読み取りについては、目標値を上回った。 (令和2年度結果:第6学年時) ○全体的に目標値を上回っていたが、区平均正答率には達しなかった。 ○文の構成や作文については、前年度の校内正答率を大きく上回った。 ○漢字の読み書きや文章と資料を正しく読み取って考えることに課題が見られた。</p>
昨年度の成果と課題	<p>【第5学年】 ・要約をする時のポイントや文章の構成を指導することで、説明的文章の読み取りができるようになってきた。 ・漢字の習得については個人差が大きく、引き続き課題が見られる。</p> <p>【第6学年】 ・物語文において、登場人物の心情や様子を捉えて読むことに課題が見られる。 ・例文を活用し、文章全体の組み立てを考えて文章を書く指導を継続して行う必要がある。 ・漢字検定の過去問題に積極的に取り組むことで、習得状況が改善された。</p>
課題	<p>○文章に書かれていることを正しく読み取る力が弱い。 ○一定の条件を満たすような文章を書くことが苦手な児童が多い。 ○漢字の習得における個人差が大きい。</p>
授業改善案	<p>◎物語文の読解では、描写を基に登場人物の心情や様子をとらえる力、説明文の読解では、叙述を基に文章構成や要旨をとらえる力を身に付けさせる。 ○朝学習「南作タイム」を活用し、様々な題や条件に対応して文章を書く場を設定する。また、例文を活用し文章全体の組み立てを考えて文章を書く指導を継続して行う。 ○個別に漢字の習得状況を把握し、漢字検定の過去問題及び、プリントを活用して既習の漢字を当該学年までに配当されている漢字の読み書きができるようにする。</p>

社会	
大田区学習効果測定の結果分析 (経年比較)	<p>【第5学年】 (令和元年度結果:第4学年時) ○正答率が目標値や区の平均値を下回っているものが多い。 ○領域別では「生産や販売」「先人の働き」が弱い。 ○観点別では、「社会的な思考・判断・表現」の正答率が特に低い。 (令和2年度結果:第5学年時) ○正答率は目標値や区の平均正答率、全国の平均正答率を上回った。 ○4つの領域ともに、正答率が高い。 ○観点別においても、各正答率を上回っているが、「社会的な事象への関心・意欲・態度」が比較的低い。</p> <p>【第6学年】 (平成30年度結果:第4学年時) ○全体的に目標値を下回り、区平均正答率に達していない。 ○観点別正答率も区の平均を下回った。 (令和元年度結果:第5学年時) ○全ての項目で目標値を下回った。特に、「地図の見方」では、目標値を大きく下回った。 (令和2年度結果:第6学年時) ○正答率が目標値や区の平均値を下回っているものが多い。 ○領域別では「工業生産」「情報産業や情報化社会」が弱い。 ○観点別では、「社会的な思考・判断・表現」の正答率が特に低い。</p>
昨年度の成果と課題	<p>【5年生】 ・他の観点に比べて、社会科に関する関心・意欲・態度が低い。 ・基礎・活用の力に関しては、改善がみられる。 ・調べ学習は興味・関心をもって取り組むが、的確に資料を選ぶことができず、まとめられないことがあった。</p> <p>【6年生】 ・都道府県の名称と位置についての理解がとても低い。 ・地図帳の使い方が十分でないので、地図を活用していく力をつけていくことが課題である。</p>
課題	<p>○関係諸機関の基本的な役割や連携を関係付けて考えることが課題である。 ○習得した知識や資料等から、自分の考えをまとめる力が十分ではないので、自分の考えをもって授業に取り組むことが課題である。</p>
授業改善案	<p>◎都道府県の名称と位置について、校内テストなどで着実に定着させる必要がある。 ○地図帳を使用し、地理的なことを中心とした問題を授業に取り入れながら、地図に慣れる指導を繰り返す。 ○資料等から読み取れること、考えたことをノートにまとめ、友達と考えを比較しながら話し合いをする時間を作る。</p>

算 数	
大田区学習効果測定の結果分析 (経年比較)	<p>【第5学年】 (令和元年度結果:第4学年時) ○大田区学習効果測定の結果では、正答率が目標値や区の平均値と同じか、上回っているものが多い。 ○領域別では、「量と測定」がやや弱い。 ○観点別では、特に「知識」の正答率がやや低い。 (令和2年度結果:第5学年時) ○正答率は目標値を上回ったが、区の平均値よりはやや低い。 ○領域別では、「数と計算」、「量と測定」が区の平均より低い。</p>
	<p>【第6学年】 (平成30年度結果:第4学年時) ○正答率が目標値や区の平均値を下回っているものが多い。 ○領域別では、「数や計算」「図形」がやや弱い。 ○観点別では、特に「数学的な考え方」の正答率が低い。 (令和元年度結果:第5学年時) ○正答率が目標値や区の平均値を下回っているものが多い。 ○領域別では、「数と計算」「量と測定」が弱い。 ○観点別では、特に、「小数」「分数」の正答率が低い。 (令和2年度結果:第6学年時) ○正答率が目標値や区の平均値を下回っているものが多い。 ○領域別では、「量と測定」「数量関係」が弱い。 ○観点別では、特に、「算数への関心・意欲・態度」の正答率が低い。 ○特に、小数や分数の計算、面積と体積、百分率とグラフの正答率が目標値を下回っており、課題が見られた。</p>
昨年度の成果と課題	<p>【5年生】 ・図形の性質を調べたり、図形を丁寧に描いたりすることが苦手な児童が多い。 ・今まで学習したことを生かし、様々な場面に応じて柔軟に知識を活用する力に課題がみられる。 ・個人差が大きく、基礎・基本が身に付いていない児童がみられる。 【6年生】 ・図形概念・性質、構成要素の理解がやや不十分で正確に作図することが苦手である。 ・個人差はあるが、わり算の計算や小数・分数の仕組みやその計算など基本的な内容が習熟されていない児童が見られる。 ・倍の計算などで演算決定を誤る児童が多い。</p>
課 題	<p>○小数・分数の計算がかけ算・わり算共にできていない。小数点の付け方、約分の仕方に課題がある。 ○コンパス・分度器・三角定規を使って正確に作図をすることができない。 ○基礎基本の計算力の定着ができていない。</p>
授業改善案	<p>◎ステップアップ学習プリント等を活用して学習したことが確実に身に付くようにする。 ○習熟度別指導を通して、一人一人の実態を把握して個に応じた指導を充実させる。 ○問題をよく読み、ノートに自分の考えを書かせる。その際、図や数直線で表すことを意識的に行い、筋道立てて考える力を養っていく。 ○基礎・基本の定着が不十分な児童には、スモールステップで個別に対応し、「できた」「分かるようになった」という経験を積み、算数への意欲・関心を高めていく。</p>

理 科	
大田区学習効果測定の結果分析 (経年比較)	<p>【第5学年】 (令和元年度結果:第4学年時) ○正答率が目標値や区の平均値をやや下回っているものが多い。 ○観点別では「科学的な思考・表現」「自然事象についての知識・理解」が目標値をやや下回った。 (令和2年度結果:第5学年時) ○「基礎」「活用」ともに、区の平均正答率を上回ってはいるが、目標値には達することができなかった。 ○観点別では、「科学的な思考・表現」のみ目標値や各平均正答率を上回るが、他の観点や領域は低くなっている。</p>
	<p>【第6学年】 (平成30年度結果:第4学年時) ○「生命・地球」「物質とエネルギー」両領域において正答率が区の平均を下回った。 ○観点別で見ると、「科学的な思考・態度」「自然事象についての知識・理解」が目標値を下回った。 (令和元年度結果:第5学年時) ○「物質とエネルギー」の領域において正答率が目標値を下回っているものが多い。 ○出題項目で見ると、「ものの体積の温度(水)」と「水のすがた」の問題で、かなり目標値を下回っている。 (令和2年度結果:第6学年時) ○全体的に目標値を下回り、区平均正答率に達していない。 ○出題項目で見ると、「植物の花のつくりと実」「顕微鏡の使い方」「電流のはたらき」「流れる水のはたらき」については、大幅に目標値を下回った。</p>
昨年度の成果と課題	<p>【5年生】 ・「生命・地球」「物質とエネルギー」の領域について、観察・実験を積極的に行ったり、ICT機器を使って学習を進めたりするなど、指導を継続して行う必要がある。 【6年生】 ・観察・実験の仕方を丁寧に言い、昨年度の指導の成果が感じられる。 ・数値評価で伸び悩む児童が多く、単元テストに臨む姿勢と学習の定着に課題がある。</p>
課 題	<p>○5年生は「生命と地球」、6年生は全領域について、丁寧な復習が必要である。 ○観察や実験、ノートへまとめる力はあるが、単元テストで結果が出ない児童が多い。 ○記述問題の無回答が多い。</p>
授業改善案	<p>◎学習したことを、記述で答えたり説明できるよう、ノート指導やミニテスト等で学習の定着を確認していく。 ○目標値を下回った領域・単元は、基礎・基本を確実に身に付けられるよう、復習する。 ○体験的に学ぶ活動をしっかり計画・準備し、学習の定着につなげる。 ○実物や図、表、グラフなどを使って、見た目では分かりにくい変化について、より確かな知識や表現力を身に付けさせる。</p>

音楽	
昨年度の成果と課題	<p>【5年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常時活動で鑑賞活動を取り入れることで、音楽を構成する要素を聴き取ろうとする児童が増えた。</li> <li>・器楽指導では個別の指導を計画的に取り入れたことで一人一人の技能の習得に成果がみられたが、まだ課題が残る。</li> </ul> <p>【6年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常時活動で季節の歌や行事の歌を取り入れることで、歌唱活動に意欲的に取り組む児童が増えた。</li> <li>・器楽指導では個別の指導を計画的に取り入れたことで一人一人の技能の習得に成果がみられたが、まだ課題が残る。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人一人での演奏はできるが、お互いの音を聴き合って演奏することが難しい場合がみられる。</li> <li>○前学年までのリコーダーや鍵盤ハーモニカの運指に不安の残る児童がおり、技能の差が大きくなっている。</li> <li>○学習したことを総合的に活用する学習が苦手である。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎計画的に復習の時間を取り入れる。フラッシュカードやICTを活用し、既習事項の復習や技能(持ち方、運指など)の指導を行い、自信をもって学習に取り組めるようにする。</li> <li>○リコーダーや鍵盤ハーモニカなどの器楽指導は運指を丁寧に確認し、スモールステップを組んで指導する。</li> <li>○個別に指導する時間を計画的に取り入れる。</li> </ul>

図工	
昨年度の成果と課題	<p>【5年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水彩絵の具とアクリル絵の具の様々な技法に触れることで、表現の幅が広がり、作品に活用する姿が見られた。</li> <li>・糸のこぎりの安全な使い方を習得することができたが、計画性に課題のある児童が見られた。</li> <li>・作品制作については積極的であるが、集中力、持続力に欠ける児童がいる。</li> </ul> <p>【6年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な技能を身に付けたあとの独創性が足りない児童がみられる。</li> <li>・作品制作については積極的であるが、集中力、持続力に欠ける児童がいる。</li> <li>・鉛筆画の単元を多く取り入れたことで模写や静物画などの描写力は高まったが、想像して絵に表す活動には課題が残る。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○技能を身に付けたあと作品イメージを持たせる際に、意見や工夫が深まらない。</li> <li>○計画的に作業を行う意識が低い。</li> <li>○作品完成まで集中力を維持できない傾向がある。</li> <li>○材料の特性や用具の効果的な利用方法が身に付いていない児童がいる。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎構想の段階で、グループごとに意見交換の場を設け、題材についてのイメージを伝え合う中で、新たな発想や効果的な表現方法を考察する時間を設ける。</li> <li>○自分なりの工夫ができていない作品を教員が取り上げて全体指導に生かすことで、自分の作品へのこだわりをもつ態度を育てる。</li> <li>○制作過程ごとに目標設定をし、段階的に作業を進める。また適宜ワークシートを活用し、計画的な作業を意識付ける。</li> </ul>

家庭	
昨年度の成果と課題	<p>【5年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常時活動で主体的に取り組む児童が増えた。</li> <li>・学習したことを自分の生活に生かす着実な姿勢が十分でない。</li> </ul> <p>【6年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常時活動で主体的に取り組む児童が増えた。</li> <li>・学習したことを自分の生活に生かす着実な姿勢が十分でない。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○製作の際の細かい作業やミシンの使い方においては、理解・定着に、個人差がある。</li> <li>○学習したことを自分の生活に生かす着実な姿勢が十分でない。</li> <li>○製作の際、興味をもって取り組むが、作品に創意工夫を生かそうとする姿勢に欠ける。</li> <li>○バランスのよい食事について理解はしているが、実際には好きな物を摂取し、偏った摂り方になってしまう傾向がある。</li> <li>○活動に対する個人差が大きく、必要な材料や手順を踏まえ、製作計画や調理計画を立てられない児童が多い。</li> <li>○学習して身に付けたことを生活に役立てて取り組むことに課題が見られる。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎製作や調理の学習に際して、実物標本や段階標本などの提示の仕方を工夫し、作業中に児童が確認できるようにする。</li> <li>○ワークシートやチェックカードなどを活用して授業の振り返りを行い、家庭での実践を心がけさせる。</li> <li>○生活に役立てた取組や友達の実践を共有し、自分や家族のためによりよい生活を送るための取組をさらに考えられる場を設定する。</li> </ul>

体育	
昨年度の成果と課題	<p>【5年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲーム型の授業では、得意な児童が中心となっていて、苦手な児童は消極的な参加となっている。</li> <li>・体力テストの結果から、投てき力にやや課題がみられる。</li> <li>・苦手意識や経験の不足により、興味をもって取り組める運動に個人差が見られる。</li> </ul> <p>【6年生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力テストの結果から、投擲力にやや課題が見られる。</li> <li>・苦手意識や経験の不足により、取り組める運動に個人差や運動能力の偏りが見られる。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○興味をもって取り組める運動に差が見られ、運動そのものに苦手意識を強くもつ児童がいる。</li> <li>○投擲力やボールを捕る運動に課題がある。</li> <li>○ボール運動では、チーム全員で活動するよりも、得意な児童のみが活動する場面が多い。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎技能に応じて練習方法を工夫したり作戦を立てたりして、活動に目標をもたせ、意欲的に取り組むことができるようにする。</li> <li>○一年間を通して、キャッチボールクラシック(ボールを投げる・捕る)に取り組み、投擲力と捕球の技能を上げる。</li> <li>○集団での関わりが必然的に求められるような学習を選び、学習形態を工夫する。</li> <li>○児童が互いに助言し合い、高め合っていくように活動の振り返りを行う。</li> </ul>

外国語	
昨年度の成果と課題	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国語に対して初めから苦手意識を示し、積極的に取り組もうとしない児童がいる。</li> <li>○外国語を使ってコミュニケーションを取ることに苦手意識をもつ児童が多い。</li> </ul>
授業改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ゲーム活動を多く取り入れ、楽しみながら外国語を学べる学習環境をつくる。</li> <li>○発音練習を何度も繰り返し行い、自然とその単語を発音できる環境をつくる。</li> </ul>